

令和8年度消防団長等幹部現地研修を実施しました

令和8年度消防団長等幹部現地を7月30日（木）～31日（金）に41名のご参加の下、実施いたしました。

1日目の視察先は、ALSOK四季防災館および富山県消防学校で、四季防災館は富山の四季の災害や自然の特性を体験できる学習施設で、自然災害委の歴史と震度7の地震や火災発生時の煙などが体験できる学習施設です。係員の方の案内で2班に分かれ学習しました。その後、四季防災館併設の富山県消防学校へ伺い、屋外訓練施設の水深10mもあるプールや、屋内訓練場や備蓄倉庫などを見学させていただきました。

その後、宿泊施設の会議室で、消防団員は「近年の若者団員の考え方について」、消防職員、市町職員は「物価高による事業内容の変化について」をテーマに、6班に分かれてグループ討議を行っていただきました。この試みは昨年の研修から始めたもので、県内消防団幹部が集まる機会を活用し、それぞれの団での課題や問題点などを出し合い、今後の消防団活動で活かしていただく事が目的です。

2日目は宇奈月ダムを見学する予定でしたが、数日前からの線状降水帯による強い雨域の影響で通行規制の為実施できず、急きょ行き先を変更することになりました。

暑い中ではございましたが、2日間大変お疲れさまでした。





